

埼玉 15 区

さいたま市

・南区

・桜区

戸田市

蕨市

川口市 (一部)



立憲民主党埼玉県第 15 区総支部長
立憲民主党代表補佐
衆議院議員

たかぎ れんたろう

高木 錬太郎

7月に入り東京都での新規感染者が連日3ケタ。その状況に対して安倍政権は、政府としての詳細な公表と具体的対策を行っていないにもかかわらず、相変わらず国民に自粛のお願いばかり。あげくには東京都に責任を押し付ける始末。案の定、国会閉会后、安倍政権は無為無策。

他方、経済への影響ばかり気にして、ちぐはぐな対応の連続。例えば「Go To トラベル」事業。この状況下で観光や旅行は後押しするが、豪雨災害被災地ボランティアは控えるよう国民にお願いするという支離滅裂な対応。今はまだ「Go To トラベル」の時期でないことは誰の目にも明らか。今は「検査拡充」と「詳細な結果公表」、そして「医療機関への更なる支援」に集中すべきと高木錬太郎は考えます。

立憲民主党 枝野幸男 代表 ポストコロナの社会像について 私案を発表



枝野幸男代表は5月29日の記者会見にて、「支え合う社会へーポストコロナ社会と政治のあり方（『命と暮らしを守る政権構想（枝野私案）』）を発表いたしました。

以下、その概略図です。

感染症から『命と暮らしを守る』中で明らかになった ポストコロナ社会の理念

1. 自分を守ることが社会全体を守ることにつながる
支え合いの重要性
2. 自分力だけでは自分の命と暮らしを守れない
自己責任論の限界
3. 危機が発生するリスクと
社会を危機から守るコスト負担が偏在している
再分配の必要性

ポストコロナの社会・経済・政治の方向性

- ▶ 過度な自己責任論⇒
『互いに支え合う社会』へ
- ▶ 目先の「効率性」に拘泥する経済⇒
『未来志向の分散型経済』へ
- ▶ 行き過ぎた「小さな行政」と政府不信⇒
『信頼できる機能する政府』へ

戸田市議選 候補者公募!

2021年1月31日(日)施行

■ 応募資格

- ・ 選挙期日において満25歳以上で、当該選挙での立候補資格を有すること。
- ・ 立憲民主党の党綱領および政策に賛同し、その実現に向けて共に活動できること。

■ 提出書類

1. 経歴書
2. 小論文(800字程度)「戸田市の課題について」

■ 提出先

立憲民主党埼玉県第15区総支部(下記、事務所連絡先をご参照ください)

■ 募集期間

2020年8月31日(月)必着

■ 選考方法

第一次選考:書類審査/第二次選考:面接審査

■ その他

最終選考にあたり、追加の書類提出を求める場合があります。

第201回国会活動報告

<新型コロナ対策関連質疑>

衆議院総務委員会



令和2年度第1次補正予算案に入った「特別定額給付金」高市総務相に質問。

衆議院 総務委員会

「電話リレーサービス法案」質疑



衆議院 法務委員会

森まさこ法相に「選択的夫婦別姓制度」等について質問。



衆議院 決算行政監視委員会



現下のコロナ禍における避難所を含めた複合災害対応について武田防災相に対し、また複合災害の懸念が高まる中での補正予算と予備費使用について麻生財務相に対し認識を質問。

プロフィール



立憲民主党 代表補佐
党 災害対策局次長
党 新型コロナ対策本部事務局長補佐

- ◆ 1972年 7月21日 高知県生まれ
- ◆ 1995年 中央大学法学部政治学科卒 (株)ニチレイ入社
- ◆ 2000年 枝野幸男秘書
- ◆ 2007年 埼玉県議選(中央区)挑戦、惜敗
- ◆ 妻(埼玉県議 高木まり)の政治活動を支えながら
- ◆ 3児(長女・双子の男児)の育児・家事にも勤しむ「兼業主夫」になる
- ◆ 2017年 衆院選北関東ブロック単独比例初当選
- ◆ 当選直後は「主夫から国会議員へ!」とマスコミからも大きく取り上げられる
- ◆ 2019年 8月 立憲民主党埼玉県第15区総支部長就任



私の秘書だった高木錬太郎君。
埼玉15区での活動にご注目
ください。

立憲民主党代表 枝野幸男



〒336-0015
さいたま市南区太田窪5丁目27-3 石川ビル101
TEL: 048-856-9784 FAX: 048-856-9785
URL: <http://www.rentaro-takagi.com>

国会事務所

〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1
衆議院第一議員会館304号室
TEL: 03-3508-7302 FAX: 03-3508-3302

Facebook: @rentarou.takagi
Twitter: @takagirentaro



立憲民主党
The Constitutional Democratic Party of Japan

高木錬太郎の活動はボランティアの皆さんに支えられています